



看護部だより



第 107 号
2021 年 1 月 28 日
国際医療福祉大学病院 看護部

新年のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年はコロナで始まり、コロナと共存した 1 年間でした。職員の皆様は、With コロナで生活様式も変化し、言葉には言い表せない多くの不安を抱えての勤務だったと思いますが、国際医療福祉大学病院は職員が一丸となって乗り越えてきました。目の前の困難は、私たちに

それを乗り越える強さと自信を与えてくれると信じてこれからもできる事をできる時に最大限の努力をして参りましょう。

新たな年が職員の皆様にとって、より幸多い年でありますようお願い申し上げます。

看護部長 大草 由美子



2020 年秋の叙勲 瑞宝双光章 受章

2020 年秋の叙勲において、大草 由美子看護部長が瑞宝双光章を受章されました。これまでの大草看護部長のご功績を称え、お祝いを申し上げます。大草看護部長、おめでとうございます。



新人看護師の皆さんにインタビュー

『一年を振り返ってみて、どうでしたか?』

最初はわからないことばかりで不安が多くありましたが、困ったことやできなかったことは先輩と振り返りを行い、理解を深めることができました。経験したことのないケアについては、積極的に先輩に声掛けし実践してできることを増やしていきたいです。また疾患や家族支援についてもさらに学習を進め個別性のある看護が提供できるように頑張っていきます。

あかちゃんセンター 高野 栞



入職してから振り返ると、毎日が分からないこと、初めてのことで溢れており、その度に学んでいく日々を送っています。今はまだ患者様を看護する責任とその恐怖を強く感じていて悩むことも多いですが、先輩方にアドバイスをいただきながらこれからも少しずつ成長していけるよう頑張っていきます。

ICU 阿久津 翠季



看護師としての 1 年目を経験して、改めて患者様を看ることの楽しさや難しさ、責任感を強く実感しました。日々学習することや忙しい中で、患者様とどう向き合うべきか振り返り考えることが多いですが、実地指導者をはじめとした周りの先輩方のご指導のもと、入職時よりは自信を持って看護できるようになったと思います。まだ未熟ではありますが、自分の看護に自信と責任を持てるよう頑張ります。

C 棟 4 階病棟 戸賀 穂乃果



第34回 栃木県看護大会感謝状表彰

祝

この度の受賞は、とても光栄に
思います。

優しさや思いやりの心を忘れず、
日々精神していきます。多くの方の
支えに感謝です。

外来 村仲 美子



この度の受賞は、とても光栄に
思います。

よい看護をするために笑顔
を忘れず、ポジティブに自分の心と
体の健康を維持しながら日々臨んで
います。

外来 斎藤 みち子



Q & A

当院の看護師に
聞いてみました!



『あなたの働く職場の良いところを
教えてください!』

- 新人看護師でも、先輩看護師に分からないことを
質問しやすい
- 指導を的確にしてもらえる



- 病棟の先輩看護師全員で
新人看護師を支えて
くれる。
- 仕事とプライベートが両
立できる

『看護師になってよかったと思う時は
どんな時ですか?』

- 患者様の元気になった姿を見ることができた時
- 患者様の笑顔を見ることができた時



- 患者様、ご家族様から
「ありがとう」と感謝の
言葉をいただいた時

『夜勤は入職してどのくらいで
始まりますか?』

夜勤は配属された月から月に
1~2回程度で始まります。
最初は先輩看護師のシャド
ウイングから始まるので徐々に
慣れていきましょう。



～編集後記～

明けましておめでとうございます。今年度も冬号まで無事に発行することができ
ました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。来年度もたくさんの方に
楽しんでいただけるような看護部だよりを作成していきたいと思ひます。ご意見・
ご要望があれば、ぜひ看護部だより委員までお声がけください。



看護だより編集委員会

C棟4階病棟 斎藤 光 ・ C棟5階病棟 黒川 リカ
あかちゃんセンター 増井 佳月 ・ ICU 新井 なつみ

